机右物

十

中村俊定文庫
文庫 18
1015
10

京都帝国大学図書

日村住定文庫

松若抄巻十

[illegible]

松出

[illegible]

月

[illegible]

芦

蘇芳の色にはあらねど

春の色にはあらねど

蘇芳

桜花

桂里

長野

橋

大井川

蘇里

錦部

柳

桜

松

萩

久方の月の桂の花

春の色にはあらねど

蘇芳の色にはあらねど

桜

雪

梅

藤花

桜

茶

茶屋

流

法師

はるへいつくにあそせてうかろかのこそ
法橋定由て定仁法師と相談し
ならぬはいふくまあらしと

松岩　同
松かえは風の松か岩にすへ(?)やかれま(?)　為家

梅霞　同
うつりゆくその色に梅の柳(?)は霞也　よみ人しらず

有馬川　同

義教
千早振神のみ代より有馬川松か枝にかけて露さき　兼好(?)
積る子の関路もかれ行くる後涼子の関路を
かゝりゆるぬともへ(?)うらゝさ今はと
ゆすとかへりぬやうはゆるうもかゝ
とうかりかれて若宮(?)やゆくうる

花　（新古今）
有馬川おもし流るゝかたえや宿かけかれし　中院(?)
（天本）
橋紅　同
花風は花さそ世は宿のまさき有馬のあり有馬川　定家
船路　同
月かへよまさるほか人あり有馬川そうせて世を通　為氏(?)
寺花　（表章）
名にしおはゝその有馬川の松の流かせうや　躬恒(?)
松雲　（表章）
さ梅かは流の有馬川の花も世をうむる松か洞　俊成

花の井　同

山森　（正徳）
かそあるし世の花の井は山森けむ　坂門(?)
花　（続古今）
花の井まその風をねとめしかへすを人(?)
駒　（天本）
駒をみへ人ゆかし体江(?)稲とも花の井の(?)　為家
雲　同
まうしく紀とへ人を花の井のまへ雲とふ　野守(?)
（新千載）
花の井のかゝる八雲をしけまし水の氷の(?)古森(?)　中務卿(?)

朝日山　同

初春　続古今　[illegible]朝日山[illegible]　[illegible]

藤里　後京極　朝日山藤の里の[illegible]　[illegible]

卯花　為家　朝日山[illegible]　為家

寄社　[illegible]　朝日山[illegible]　資明

峯松　同　[illegible]朝日山の[illegible]松[illegible]　[illegible]

鶯　同　朝日山[illegible]の野へ[illegible]　[illegible]

梅　[illegible]　[illegible]朝日山の里の梅[illegible]八十[illegible]　同

雑　同　[illegible]朝日の[illegible]　[illegible]

花　同　朝日山[illegible]　[illegible]

鵜　同　朝日山[illegible]　光俊

玉椿　同　[illegible]朝日山の[illegible]　[illegible]

早苗　同　早苗[illegible]朝日山の[illegible]　通信

河鵜　同　[illegible]朝日山[illegible]　季遠

朝日里

[illegible]　[illegible]　[illegible]朝日の里[illegible]　教光

日蔭草　新古今　[illegible]朝日の里の日蔭[illegible]　[illegible]

秋　後京極　[illegible]朝日山[illegible]　為長

御祓　[illegible]　[illegible]朝日の里[illegible]　[illegible]

紅葉　同　朝日山[illegible]　[illegible]

秋山

擣衣　後京極　[illegible]　後光

唐
麻
新拾遺秋下 白雲のたなひく山の外に又吹まよふ唐衣[illegible] 中関白
同雑上 浦さひしき[illegible]麻衣[illegible]の[illegible] 後京極摂政
玉葉 香具山の[illegible]の[illegible]行[illegible]の山里 [illegible]

天香久山 大和

万葉一 天のかく山のほりたち国見をすれは国原や
煙立たつ海原ハ鴎立たつ 舒明天皇
長歌
同 いにしへの事はしらぬを我見ても
久しく成ぬあまのかく山 人麿
桜
同 桜花さかりにけらし松風 赤人
松
新古今 [illegible]あまのかく山 持統天皇
十市の里
同 十市には夕立すらし久かたの天のかく山雲かくれ行 俊頼

宮
同 宮木ひく[illegible]天のかく山 後京極
桜
後拾遺雑下 白妙の[illegible]桜[illegible]天のかく山 同
篠浪
後拾遺雑上 [illegible]天のかく山 宗尊親王
月
鏡
同 [illegible]天のかく山の日影もかけし鏡なるらん 為世
雪
枝
新勅撰 [illegible]天のかく山 定為
時鳥
玉葉 久方の天のかく山[illegible]ほとときす 順徳院
花
玉葉 花の[illegible]天のかく山 家隆
郭公
同 [illegible]天のかく山 雅経
豊[illegible]
同 天のかく山[illegible] 好忠
[illegible]
同 [illegible]天のかく山 道家
[illegible]
同 [illegible]天のかく山 [illegible]

滝尾　同　かしこの滝水もとけのこしに苔清水ながれ　なを

京都　河　同

寒泉　行けけの水とくみてこしらつる

白布　新勅撰　寒泉　行の水桂原もとくれなゐ色ふかき紅葉

ちはやぶる　いつの川　はるの日　寒泉　ちはやぶる　人倉

河竜　前拾遺　河竜　行あの水つゝみ　宝家

月川　後拾遺　寒泉　行の水　月に新て桂原　紅葉氏

後拾遺　寒泉　行の水　つゝみ　ちはや

変　同　風雲　行の水　変　変

橋桂原　古今　橋　行の水　桂原　変

布市　同　わの川布市　桂原　変

雷　同　寒泉　行の水　雷

河竜　同　風雲　桂原　河竜　行の水　村雲

林　同　林　寒泉　行の水　村雲

飛鳥　河　都　文　同

河竜　長歌　ちはやぶる　飛鳥の川の流くるみん　京歌

原良　万十　ちはやぶる　飛鳥の川　桂原　原良

玉藻　長歌　ちはやぶる　飛鳥の川　玉藻の村　ひさかたの　人人

河水　万新　世中　行の水　ちはやぶる　飛鳥の川　流　月日　河水

東人

同　ちはやぶる　飛鳥の川　流　行水

紫苑　新撰万葉集
花の色にあかぬ心を秋の野の露にぞ人の
思ひ出ける　新勅撰集
花の色は霧にぬれつゝ秋の野の露にぞ人の
萩露　後拾遺
花の色は霧にぬれつゝ秋の野の露にぞ人の
初雁　同
たゝ今の雲吹はらふ風の音にはつかの雁
葛　新古今撰歌
花の色はうつろひにけり人の世の
雪　同
ふるとしの雪の下草春をまちて
橋　後拾遺
花の色は霧にぬれつゝ秋の野の露にぞ人の
捨衣　同
花の色は神代の春にあらねども
寺鐘　同
花の色はうつろひにけり人の世の
七瀬流　新後拾遺
花の色は霧にぬれつゝ秋の野の露にぞ人の
柳　新後拾遺
花の色は霧にぬれつゝ秋の野の露にぞ人の

人魂
こゝ人人
宮
田屋
美女
行恒
清輝
源重家
久明親
旅
為定

蓮　新後拾遺
花の色は霧にぬれつゝ秋の野の露にぞ人の
鏡　拾遺
うゐ世とてつゝ井の水の澄まれけるかな
文藝　家
花の色は霧にぬれつゝ秋の野の露にぞ人の
月　清輝
花の色は霧にぬれつゝ秋の野の露にぞ人の
橘　拾遺
花の色は霧にぬれつゝ秋の野の露にぞ人の
郭公　同
花の色は霧にぬれつゝ秋の野の露にぞ人の
岩藤　重之卿
花の色は霧にぬれつゝ秋の野の露にぞ人の
屋　土御門
花の色は霧にぬれつゝ秋の野の露にぞ人の
松茸　同
花の色は霧にぬれつゝ秋の野の露にぞ人の
躑躅　同
花の色は霧にぬれつゝ秋の野の露にぞ人の
卯花　同
花の色は霧にぬれつゝ秋の野の露にぞ人の

蛍
ちはや
蛍火
宗長
蛍
宗牧
蛍
宗長
蛍
宗牧
蛍
宗長
蛍
宗牧
蛍
宗長
蛍
宗牧
蛍
宗長

橘 同 [illegible]橘 隆博

花鳥 同 [illegible]

笹原 同 [illegible]の原に[illegible] 良経

鶯 同 [illegible]鶯 [illegible]

寺法燈 同 [illegible]朝日[illegible]の法の燈 知家

朝原 同

紅葉 [illegible] [illegible]片岡の朝の原は紅葉[illegible] [illegible]

菜 拾遺 明日からは若菜つまむと片岡の朝の原は今日ぞやくめる 人麿

雉子 [illegible] [illegible]片岡の朝の原に雉子[illegible] 長能

[illegible] [illegible] [illegible]朝の原の[illegible]一枝[illegible] [illegible]

麻 [illegible] [illegible]片岡の朝の原に麻[illegible] 為家

鶉 [illegible] [illegible]朝の原の花[illegible] [illegible]

草 [illegible] [illegible]朝の原の[illegible] [illegible]

鶯 [illegible] [illegible]朝の原の[illegible] [illegible]

雉子 蕨 同 雉子なく朝の原の[illegible]早蕨[illegible] [illegible]

花 同 [illegible]片岡の朝の原の花の[illegible] 為家

駒 同 [illegible]朝の原に[illegible]駒[illegible] 人麿

[illegible] 同 [illegible]朝の原に一[illegible] [illegible]

[illegible] 同 [illegible]朝の原の[illegible] [illegible]

萩 同 [illegible]朝の原の萩の[illegible] [illegible]

鶉 同 [illegible]朝の原の鶉[illegible] [illegible]

鹿 萩 同 [illegible]萩の[illegible]朝の原[illegible] [illegible]

瞿麦　同　　宮河の胡蝶の花折り一花ならず富士[illegible]　定家

阿多大野　同

葛　万葉十　真葛原なびく秋風吹くごとに阿太の大野の萩の花散る　読人しらず

松虫　續後撰秋中　よそにのみ[illegible]くれゆけば阿太の大野の真葛原恨みかねたる松虫の声　[illegible]

荻　新拾遺秋上　白露の[illegible]阿太の大野の荻の葉[illegible]吹く夜半　定家

鶉　新後撰秋上　鶉なく阿太の大野の真葛原[illegible]　雅[illegible]

[illegible]　夫木　[illegible]阿太の大野[illegible]　[illegible]

薄　同　家も[illegible]阿太の大野の薄[illegible]　信成

葛花　同　風[illegible]阿太の大野の葛[illegible]　為家

萱　同　秋[illegible]阿太の大野の[illegible]　宗[illegible]

秋篠　同

同　伊駒嶽　新古今冬　秋篠や外山の里や時雨るらむ伊駒の嶽に雲のかかれる　西行

伊駒　霧　玉葉秋下　朝日さす伊駒の嶽はあらはれて霧立ちこむる秋篠の里　実俊

桜花　玉葉　[illegible]伊駒の嶽の[illegible]秋篠の里[illegible]　[illegible]

薄　夫木　秋篠や外山の薄[illegible]　為兼卿

竹　同　風吹けば[illegible]秋篠の里[illegible]　家良

杖　同　[illegible]秋篠[illegible]の杖の[illegible]　雅有

青嶺　同

菖蒲川　千載夏　菖蒲川[illegible]　顕綱

花　[illegible]　菖蒲川[illegible]　教長

若道　新後拾遺　雲かかる[illegible]　雅季

佐保姫　夫木　佐保姫の[illegible]　公定

河霧 同 久かたの月の秋は河霧の遠よりや人のやすさ 隆祐

擣衣 同 さ夜ふけて秋の夜ころも打つこゑに衣うつなり月の影 通信

松 同 今はゆく秋の夜ころも松の嵐にさそはれて松の村立 好忠

秋河月 同 音羽山秋の夜なかの月かげに小夜川のさゆるなり 頼輔

河霧 新六 今はゆく秋の夜かげにして河霧にまがふ河瀬 仲文

天川　河辺

七夕 古来 待わびし七夕のくもの上に天の河原の舟出すなり 業平

七夕 新六七夕 七夕のあふ夜の天の川波のしるしとてかくぞ渡れる 貫之

天の川とこそこく

新後拾遺 ひさかたの天の河原にわたる水とも見えし 敏行

文字森 後拾遺 天の川瀬に一夜の逢ふ瀬なき人の心のあるかなきかなる 家隆

雪 玉葉 天の川雪もてやりて文字の星の上にしろく見ゆ 資平
七月七日天の川と云ふにて日よるの見る人
舟ごとに行く河水の数はなく

紅葉 新拾遺雑秋 織女の八つの衣の天の川なる流れの舟ぞこぎ 後鳥羽院

雲井 玉葉 久方の天の河原の雲かかる一夜の影そらに見ゆ 為家

鵲 奇 あはれやと夜の雲に天の川の文字のかけし渡るかささぎ 光俊

橋 同 天の川なかれしも天の文字の橋の渡る 藤原 小宰相

桃 同 天の川岸のしたの桃の花の色に見えて花の香やま 相模

芸 同 七夕の恋の橋とやこの天の川の雲の一夜と見ゆ 為相

萩 同 萩の花岸の上にや天の川の林の中に月ぞすむ 定家

松 同 天の川深き松風はかへる扇の風に似るなり 家隆

拾玉　同

有馬

菅

秋の和

人麿

大貳三位

宗尊親王

資実

武庫

愛

四宮

相四宮

策策　同

秋の和　同

浦野　同

有馬

秋　同

屋

武人

義氏

定家

雲雀

伊嗣

藤原定家

三位

藤原時平

宗尊親王

紫　峯斗　紫の花の咲かりやあさ色の村よりいでし宮の春　文信

花村　同　紀伊国やまた花村の咲たにもまた花ならん見る人　大坂屋 音吉

浦　定乗　いつも有馬の浦の浦風にあまくちなみにさそひ出らん　広丸

関郷　亮丸　若菜をつみし女たちにさしもしらでおのがまゝ　森丸

若菜　浪沖浴　浪里　梅月

呉鴛鉤　采衣　若菜をつみし鴛鴦も日かげにかへる鉤のうき　紀岡錦

漁火釜　新古文　いつもせわしき若菜を釜にて煮る　梅友蔵 音吉

那　月雅中　若菜摘む人のたよりにあさからぬ　菜羊

娘　同　たはれたる娘の若菜に手をひかれ　同

沖　新栄　たち出る若菜の沖にこぎ出して　緑采

紀蓬亡　浪花女　いまだ若菜のつみ残りけり　南雲

登　同松中　鶯の若菜の里にのどかなる　清国

居　浪花梅下　若菜摘む日も近くなりけり　梅蔵

香　同　見し人の若菜の香りも　好謡

海女　新蔵　若菜を摘みて海女の手に　笑鳥 慶

采衣　新猿夫　若菜摘む采衣のはなも　玉屋

梅　浪花若菜　若菜摘む梅の下風　雅世

松　登玉　若菜を摘みて松の下風　定丸

武庫　同　武庫の若菜の沖に鉤ゆる　春信

雪　走保　いつもの若菜の雪のうちにぞ　同

浜松　続古　すみよしの浜松か枝に風ふけは波のしらゆふかけぬ日そなき　定家

岸姫松　玉葉　芦わけのなにはの浦の姫松のいくよ経ぬらん住よしの岸　後京極摂政

鶉　同　よさの海の芦のかれはの沖の月かけてうつらなくなり秋風そふく　為家

鵆　同　しほかせに浅香の浦の夕なみにかたふく月も千鳥なくなり　同

入江　同　芦わけの里の入江による浪の浅香の浦にうきねしつらん　同

砂山布引滝　同　芦の屋の砂山こえて見わたせはくもゐにかゝる布引の滝　後京極内大臣

蛙　同　胡蝶芦屋の沖に行舟のよそめにみゆるかはつなくなり　公通

鴫　同　夕されは塩やの松に吹風に羽かきたつる芦の屋の里　雅経

浅沢　小野　沼　同

杜若　万七　墨吉之浅沢小野之垣津幡衣尓摺著将衣日不知毛

忘水　新勅　住吉の浅沢小野の忘水たえ／＼ならてあふよしもかな　若宮御浜

花かつみ　千載　五月雨に浅沢沼の花かつみかつ見るまゝにかくれゆくかな　藤原顕仲

菜　続千　下もえやまたき入くらん白雪の浅沢小野にわかなつまなん　為家

芹　続拾　いさやこの浅沢小野の芹つみて浅沢水の春の里とも　俊成

三稜草　新千載　すみよしの浅沢水のみくりなは絶ぬる世にはくるよしもかな　頼之

杜若　堀河　住吉の浅沢沼の杜若つゆのちかけに花をみるかな　仲実

秋砂　新六　わきもこか浅沢小野のかきつはたなれし衣に秋そ水の色　信実

菖蒲　正治　かくし沼の浅沢沼のあやめ草さかりなかれて生やはしけん　隆祐

住吉　浅香浦　同

玉藻　万二　夕されは潮みちくらし住吉の浅香の浦に玉藻かりてな

潮　続拾　住吉の浅香の浦の浪の上に汐のみちくる松の下枝は　行能

新千載　玉藻かるやつし浅香の浦人のみるめの浪の夕くれ　為相

新撰万葉集巻第十

阿波手　浦社　尾張

雲源松　金葉三奏　名にそなりて波の葉ごとに
浦貝　新勅撰　我恋はうらなみ貝のうらうらに
藤壺大　後拾遺　紅花色にうつしてぬれる袖
杜　新古今　ゆきとして人と桜の見わかぬ
蜂　続後撰　つひとりの分とぞ思ふ杜鵑
芭蕉　天平　ひとめをもうらにとりかはしひとりの
麻　同　あまりにて杜の京の八重咲
香　同　波風をあらしの山とさ乱れて
星　同　月ゆゑ伏しつつ空のうらうらに

安倍成　源雅光　後拾遺　道
藤壺大　道
武蔵
康光
人
高
少
良
人

安倍　駿河

市　天平　焼津べ
坂路　同　坂越えて
夕立　新後拾遺　いく度か
田居　天平　雨
雪樹　同　早苗
早苗　同　
辰市田　安倍　和

春日光　人
武
雪
人
高

坂居　天平　辰市の
同　春の雨に

相模　広明
義
人

舟木　万葉三　とふさたて足柄山に舟木きりきにきりゆきつあたら舟木を　沙弥満誓

箱根路　同　足柄の箱根飛越ゆく田鶴のともしき見れは倭しおもほゆ　よみ人しらす

杉　同　わかせこをやまとへやりてまつしたす足柄山の杉のこのまよ　同

東路を人にとはゝやかて足柄山の[illegible]

くもりゆく

　後拾遺　足柄の雲の[illegible]人は[illegible]　貞静法師

浮嶋原　同　足柄の[illegible]一村のこし浮嶋か原　後京極摂政

　続古今　足柄の山[illegible]ゆきて[illegible]　家隆

富士　同　[illegible]富士の高根は[illegible]越る足柄の山　為家

竹下　続後撰　足柄の山の麓に[illegible]竹の下道　平貞時

宿根　玉葉　[illegible]足柄の山　為兼

花竹下　新続古今　足柄の山の嵐の[illegible]花の竹の下道　為相女

八重山　新後拾遺　[illegible]足柄の関の八重山[illegible]　津守国量

社　新拾遺　ゆく人の[illegible]足柄の[illegible]　行頼

路　夫木　ゆきかよふ山の[illegible]富士の高根[illegible]　河内

霞隔月　同　[illegible]　順徳院

朝月　雪玉　[illegible]　[illegible]

檜　夫木　[illegible]　後京極

花　夫木　[illegible]花[illegible]　為相

眺望　同　東路の足柄山の[illegible]　[illegible]

菅　同　わすれの山ふみ行人の跡とゝめあさる行
原　同　旅衣日ゝ夕ゝ行くゝ柄の名花ゝ咲ける　文明
高砂　同　同の戸人ゝ本場ゝ有るハつゝ仕て舞ゝ行ゝ柄の山　百天
松　舞　同　同ゝ松の下陰ゝ立て言ゝゆゝゝねゝの山　百郎
作者書　五番　恋ゝ行ゝゝ旅ゝ行ゝゝの仕舞ゝ舞ゝ　同

五番

葉ゝ山ゝ山ゝ八建長ゝ年ゝ東ゝ下ゝ
長柄の舞ゝ作者ゝ山ゝ
百ゝ代中ゝ

道坂　同　山　近江

わゝゝゝて人ゝ別ゝ行ゝ
五番別　道坂の実ゝ山ゝ
ゝ行ゝ　百郎

菅原の流れとゝ山ゝ代ゝ行ゝ
ゝゝ時ゝゝゝ道坂ゝ
行ゝゝ

同　かゝゝ名ゝ行ゝ道坂八今ゝ代ゝの花ゝ花　長ゝ
高砂　同　高砂ゝ高ゝ行ゝ道坂の実ゝ代ゝ三年ゝ行　有屋
松　同　道坂ゝ舞の風ゝ宇ゝ行ゝ松ゝ行ゝ　ゝ人
薄　同　戦場ゝ戦場ゝ道坂ゝ山ゝ
立烏帽子　五番　名ゝ松ゝ道坂ゝ山ゝ
お坂の宮ゝ
ゝゝ行ゝ人ゝ
五番別　実ゝ道坂の実ゝ八知ゝ

やまのゐのかけてもたのむ関守はこゝろく
ゆかりなるにあふ坂をも忍ふ人の子なれは
まちてなるゝと兄とわかれしゆへさすらへぬ
人はなかりけれともえくはつかなる

杉村

同 題二

逢坂の杉村しけるあたりをは
たゝにとまりは来らぬまて来にけり　綾行

男のかくらむ京にあひなくゆくも
なき女のなとにさ月にいてゝまてを
つれもなかりけれは

同 題

行人をまねくともけふの年の越る逢坂関　三子人
わひなくゆかるゝ人をのこるよ名残

桜

桜のはなのちるさまはぬさとゆくさきはなかりけり

同別

行く人の手向にちる桜花逢坂こえて後もゆかし　同

切原

於逢坂

逢坂の関の清水もすみなれしきりはらの駒　秀聡遠

清水

同

逢坂の関の清水に影みえてひきわかれし望月の駒　貞之

望月駒

伊勢ちの行かへる人は悲しくその
いかなる花とまてなかる逢坂よ
ゆかりはくゆかる人はさりけり

杖

於逢別

行末の命をしらぬ別路はふたゝひ逢坂やまちかなしき　紀宣

同 林宗

逢坂をこえ行く人の千年をもつきてこそ行杖也

走井

同 題

走井の杉とちるや逢坂の関にゆかまの駒　清水縁

村

於逢坂 其一

逢坂の関の杉村にふりしよりかはらぬ月の駒　良遠坊

関の詞

関は　くちのくに逢坂山　ちかうまで　逢坂の関　ちかうまで　逢坂の関　ちかうまで　逢坂の関

雪花

初句切 雪ふりて年の暮にはなりぬれば
　　たれ天皇
　　文屋
　　逢坂の関の清水に影見えて
　　今やとのみ人の待つらん
　　行平

初句切 相坂の関に流るる清水
　　藤原
　　行家朝臣

歩人

初句切 逢坂の関の清水に
　　行家朝臣
　　逢坂の関の清水に
　　行家朝臣

白川関

　　行家
　　逢坂を越えて
　　行家朝臣
　　白川の関
　　実方中将

　　逢坂の関の清水に
　　実方中将
　　逢坂の関の清水に
　　実方中将

仁和法親王
　　いそのかみ
　　逢坂山
　　法皇

後拾遺雑下
　　ありあけの月
　　逢坂の関
　　後拾遺雑

後拾遺雑上
　　逢坂の関
　　後拾遺雑

恋歌

　　わびぬれば
　　逢坂の関
　　清原深養父

　　のりつぎ
　　逢坂の関
　　清原深養父

　　逢坂の関
　　男ひとりありけるとこそ
　　伊勢

　　やはらぐ

　　逢坂の関
　　後拾遺

後拾遺雑四
　　みちの人
　　逢坂の関
　　後拾遺

　　東
　　逢坂の関
　　東京雑

　　ありあけの月
　　逢坂の関
　　東京雑

柳　同　五月雨の雲の空より垂れやすき枝なりとて柳
照射　同　照射して五月雨とて行く人の
麻　同　麻なるの青柳の色もて言せれば葉も五月の雲
五月雨　同　五月雨や花の下道を辿る人の行く
鐘　同　五月雨や板の下道を辿る人の行く
蓮葉　同　五月雨の蓮葉に浮かぶ花
蔦　同　五月雨に蔦の葉に落ちて
鶯鳴く　同　わが宿に鶯鳴く五月雨
多賀の浦　同　多賀の浦に五月雨
須磨　同　五月雨の須磨の海
塩釜　同　五月雨の塩釜の海

唐松　同　五月雨の唐松の花
鳴校　同　鳴る校の五月雨
五月雨川　同　五月雨の川の流れ

五月

五月雨　同　五月雨ゆえに百日の日ぐらしとなる人
行く雁　五月　五月雨に行く雁
花　同　五月雨や花の日ぐらしとなる
伊吹　同　五月雨や伊吹の雲
志賀　同　五月雨や志賀の浦
湖海　同　湖や五月雨の海

鶴

五月　敦賀

敦賀人

手島

金坂

綱代氷魚

葉田

芦田里　同

宇治

栗津　野原　杜里　同

野路

葉

金坂

菖蒲

鶴

栗津

尾花　芳多坐

雉子

関杜　同

高橋

花鏡　同　[illegible]　為相
深沼　同　[illegible]　法眼
萩　同　[illegible]　仙海
葛出　同　[illegible]　長房
薄待　同　[illegible]　為あ
萱葵　同　[illegible]　同
拷布　同　[illegible]　泰氏
鶉　同　[illegible]　[illegible]
鷺　同　[illegible]　[illegible]
駒　同　[illegible]　[illegible]
[illegible]　同　[illegible]　為あ

舞　[illegible]　[illegible]
鈴出　[illegible]　[illegible]

浅間山　[illegible]　伝法

[illegible]
[illegible]　伝法[illegible]
[illegible]　伝法[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

里　同　[illegible]　雅俊
[illegible]　[illegible]　伝教
義　[illegible]　伝大
橋　[illegible]　宗教
[illegible]　同　[illegible]　伝教

可哀

松

哀

花

麻

松

鶯

井

獨人

有明山　同

[illegible]

夏海ゝ哀れ松[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

安積山　陸奥

わさゝ山ゝけゝ[illegible]

[illegible]

[illegible]

菖蒲

世ゝの[illegible]

山ゝ越行ゝゝ[illegible]

[illegible]

井

芸

霞谷

橋

鶯

松

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

鳴　同　花ちるさかりなる鶯の鳴るを聞侍りて　家隆卿

安達原　同

槿　たちそめし夏のあけぼのなれぬれば　家隆

家隆　たちのぬれ露は夏のあけぼのの　同

関　ながしとや人はとがめぬ　実定

実定　ながしとや人はとがめぬ　俊成

知家　ながしとや人はとがめぬ　俊成卿女

四首　物人の夏はなれぬる来たるなり　知家

物六　朝露はなれぬ夏の来たるなり　四首

芹　小芹摘みしれぬ夏の来ぬるなり　芹

菖蒲　夏は来ぬ菖蒲の根ぬるなり　菖蒲

鶯　夏の来ぬ鶯の鳴くなり　鶯

鶯　夏の来ぬ鶯の鳴くなり　鶯

荻　荻の葉の夏の来ぬるなり　荻

荻　荻の葉の夏の来ぬるなり　荻

荻　荻の葉の夏の来ぬるなり　荻

矢田野 海辺
霧 公長卿
人麿
矢田部御幸 初句ハ矢田部御幸
矢田原 初句ハ矢田原
有乳山と有
河間
石
海深里 同
仲人
越後人 初句ハ
深草
岩 文業
三宮
谷宮 ちなみ
蓮
出 同
同
荒 長忠
宮海道
人麿
宮 同

宮車 寺本
同
松原 同
芝 寛
桂 新千歳
海苔 原
越海 同
大隈宮 同
浜荻 左京
俊成 知家
同
同

[illegible]

貝

[illegible]

[illegible]

[illegible]

明石 浦風 月五 源義

松原

舞迫門

大和路

雜歌

世中をうくるかたをもとくらくらくたくをかなしみて　　為氏

月をのみ　　為氏

月をのみ　　為氏

月をのみ

松帆浦
玉藻刈
藻塩焼
玉久舎

漢語抄 松帆の浦の朝なぎに玉藻刈り藻塩焼き
夕なぎに藻塩やき焼き
海人
漢語抄 玉藻刈る海人の子ども
海人
漢語抄 玉藻刈る海人の子ども
海人
漢語抄 玉藻刈る海人の子ども

和田
秋沙
鶺鴒
石間川
鳥
鶺鴒
次ヶ瀬
那古
淹業
雉子

浅野

浅路

化野

蛍
遊
川
菫
松
花
葛

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]